

5月のみどころ

よく見られる花や動物をピックアップしました。

★印がついた種の生育場所は裏面地図をご覧ください。★印の無い植物は園内に広く分布しています。



カラタネオガタマ(モクレン科)★

漢字で表すと「唐種招霊」。中国原産で別名はトウオガタマ。花はバナナのような香りがします。〈植栽〉



ユリノキ(モクレン科)★

原産地は北米。花の形からチューリップツリー、また葉の形からハンテンボク(半纏木)とも呼ばれます。花は高い場所に咲き、たくさん蜜を出します。〈植栽〉



エニシダ(マメ科)★

原産地はヨーロッパ、北アフリカ、アジアの一角。緑化樹、肥料木として植えられ、野生化していることもあります。〈植栽〉



フジ(マメ科)★

ツル性の木本です。別名はノダフジ(野田藤)。大阪市福島区の野田がかつてフジの名所だったところからきています。



アズキナシ(バラ科)

秋に赤く熟す果実がナシに似ていて、アズキほどの大きさなのでこの名がついたという説があります。



スダジイ(ブナ科)

雄花と雌花があります。雄花は新枝の下部で垂れ下がるように咲き、独特の強い香りで虫を誘います。雌花は新枝の上部につきます。



クロバイ(ハイノキ科)★

常緑の葉は暗い緑で、白い花がよく目立ちます。クロバイは黒灰。この木の灰は染色のための薬剤に利用されました。



エゴノキ(エゴノキ科)★

果実は有毒で、口に入れると喉や舌を刺激してえぐい(えごい)のでこの名前がつきました。



モチツツジ(ツツジ科)

里山の代表的なツツジの一つです。新芽や花柄などが鳥もちの様にねばつくことからこう呼ばれています。



テイカガズラ(キョウチクトウ科)★

常緑のツル性の木本で、花がプロペラの様に捻れています。「テイカ」は歌人、藤原定家のこととされています。



ヒツバタゴ(モクセイ科)★

別名はナンジャモンジャノキ。国内では岐阜県などの限られた地域にしか自生しない希少種で、園内にあるのは移植されたものです。〈植栽〉



スイカズラ(スイカズラ科)

細長い花筒の奥に蜜があり、その蜜を吸うツル植物ということで吸い葛(スイカズラ)と呼ばれるようになったそうです。



カキツバタ(アヤメ科)★

花びらの中央が白くなっている点でハナショウブやアヤメと区別します。〈植栽〉



シャガ(アヤメ科)★

古い時代に中国からもたらされた帰化植物です。林内のやや湿った場所に群生します。



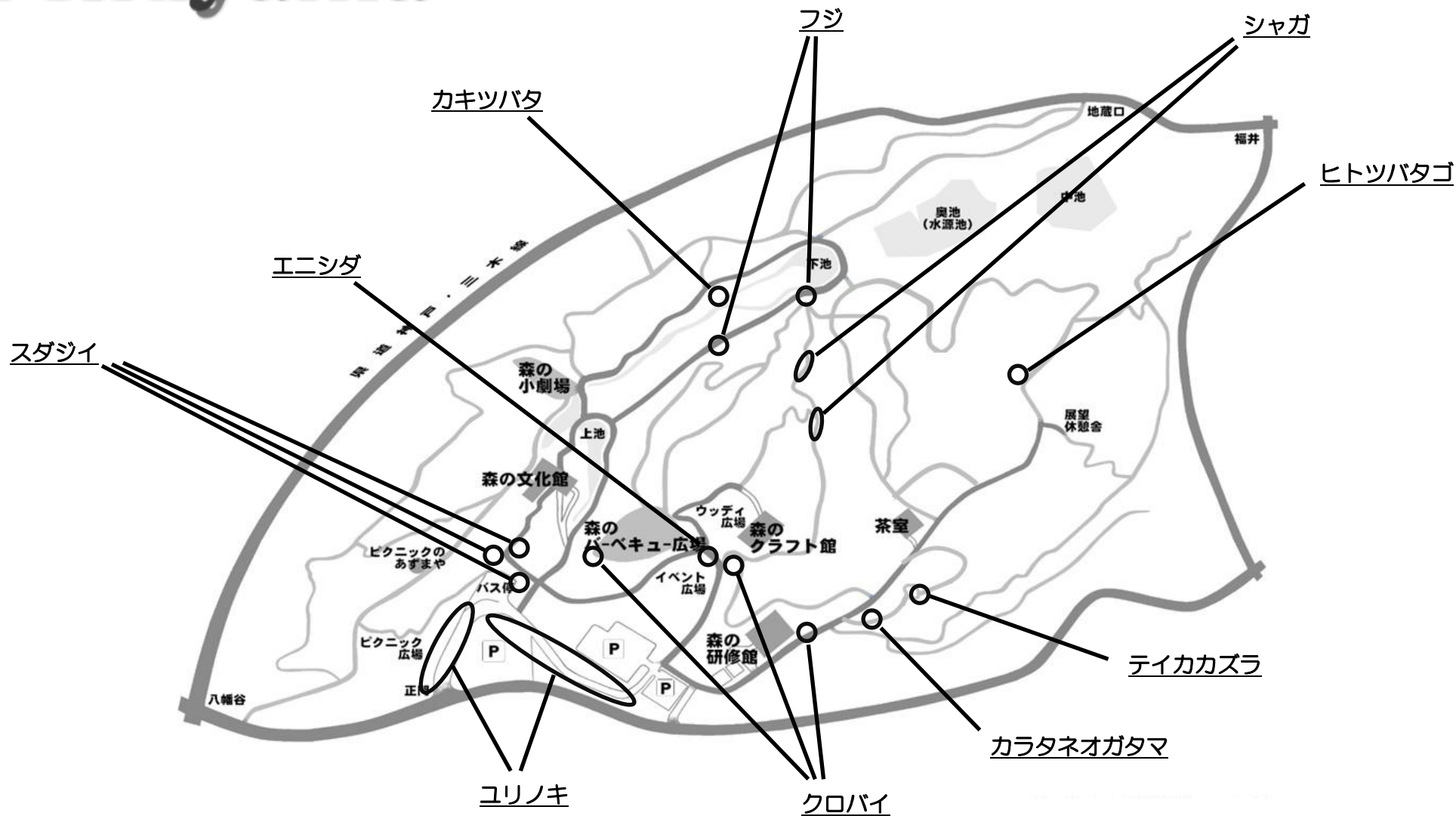
モリアオガエル(アオガエル科)卵塊

兵庫県の絶滅危惧種に指定されているモリアオガエルは、水面の上にかぶさった枝に産卵します。

Mikiyama

兵庫県立三木山森林公園

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」を
HPにて掲載しています



4月のみどころ

よく見られる花をピックアップしました。

★印がついた種の生育場所は裏面地図をご覧ください。★印の無いものは園内に広く分布しています。



サルトリイバラ(サルトリイバラ科)

茎に鋭いトゲを持つツル性植物で、薄黄緑色の小さな花が咲きます。サンキライとも呼ばれます。



ミツバアケビ(アケビ科)

秋に甘い実をつけるツル性植物。上方で大きく開いているのが実になる雌花、その下に集まっているのが雄花です。



カスミザクラ(バラ科)★

この地域に自生するサクラの一つ。葉の展開と同時に開花し、花柄や葉柄に毛があるのが特徴です。



ザイフリボク(バラ科)★

花の形を、武将が戦の時に持つ采配(さいはい)に見立てて采振木(さいふりま)と呼ばれます。



イロハモミジ(ムクロジ科)★

雄しべと雌しべがある両性花と雄しべだけの雄花が1本の木の中にあります。もみじ谷にたくさん植栽されています。



ヒサカキ(モッコク科)

小さいことを表す「姫」をつけた姫サカキが名前の由来と言われます。花は都市ガスに似た独特の強い匂いを放ちます。



コバノミツバツツジ(ツツジ科)★

当公園のコバノミツバツツジ群落は、令和5年に植物群落としては三木市初の市指定天然記念物に指定されました。例年初旬が見頃です。



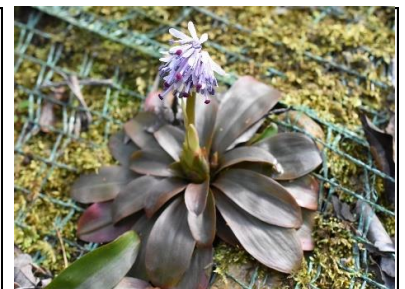
ドウダンツツジ(ツツジ科)★

秋の紅葉が見事ですが、春は可憐な花を咲かせます。森の研修館前に植栽されています。



ガマズミ(ガマズミ科)

春の里山林でよく目にする花木の一つです。秋には鮮やかな赤い実をつけます。



ショウジョウバカマ(シュロソウ科)★

ピンク色、紫色、白色の花を咲かせます。人里から高山帯まで広く分布しています。



ムラサキケマン(ケシ科)★

林内のやや湿った場所に群生します。有毒植物ですがウスバシロチョウ(当園にはいません)の幼虫の食草になります。



シハイスミレ(スミレ科)

園内でよく目にするスミレの一つです。葉裏が紫色なので「紫背(しはい)」スミレと名付けられました。



キランソウ(シソ科)★

可憐な花なのに別名はジゴクノカマノフタ。地面にへばりつくように放射状に広がる葉を「地獄の釜のふた」に見立てたものです。



サギゴケ(サギゴケ科)★

花の形が、サギが飛んでいるようで、コケのように広がって生育することが名前の由来です。別名はムラサキサギゴケですが花が白色のものもあります。



カンサイタンポポ(キク科)

当公園には日本在来のカンサイタンポポがたくさん生育しています。外来のセイヨウタンポポと異なり、総苞片(そうほうへん)(写真の矢印の部分)が反り返りません。

Mikiyama

兵庫県立三木山森林公園

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」を
HPにて掲載しています

